

6月12日(水)

**学校給食の地産地消の推進を！**



千綿 正明

小・中学校の給食費の総額は7億3千万円にも上る。一昨年の佐賀市産の農産物の給食の使用率は18%ということだが①この数値が上げられないのはなぜなのか、何が問題となっているのか②農家の方に対して公募を

したらどうか。

**答弁** ①学校給食の食材には必要な量の安定的な確保、納品規格―質、価格の制約があり、それが地産地消の割合が伸びない主な要因。食材は前日、前々日に調達するシステムになっており、JAは、事前に納入日、規格、量がわかれば供給可能とのことなので、教育委員会の学事課と詰めた②公募については、個

**医療センター好生館周辺の交通状況**



川副 龍之介

有明海沿岸道路久保田、芦刈間と県道江北・芦刈線バイパスの同時開通で通勤車が増加し好生館周辺の交通渋滞を招いているが①安全性を含めた道路管理の考え方は②市営バスの利用状況は③70歳からのワンコインシルバーバスの適用は。

**答弁** ①住民の意見をよく聞きながら必要な対応について道路管理者としてできること、交通管理者の御協力をいただかなくてはいけないことを含めて検討していきたい②嘉瀬新町・久保田線と徳万・久保田線であわせて乗降者数は1日80人。鍋島駅・医療センター線で16人。南部・医療センター線（平日のみ）で13人の乗降者③高齢者の健康維持にも貢献できる制度と考

別の農家を集約して一定の品質等を確保することは非常に煩雑であり、現時点では、JAなど共販を中心とした納入体制でやらせていただきたい。

**◆その他**◆中学校の部活動での賠償事故に対する保険加入の徹底を／官民の境界査定と占用料について



佐賀県医療センター 好生館

えている。早い段階でそういう提案ができればと思っている。  
**◆その他**◆地域活性化について／待機児童対策について

**国民健康保険の赤字解消策について**



西村 嘉宣

①国保の一日当りの医療費は②入院を短縮する対策は③全国医師会も健康づくりに賛成されている。今は他の保険の人もいづれ国保に加入される。市民全体の健康づくり運動は、どう考えるのか④最高額についても累進課税とすべきでは。

**答弁** ①1日当たりの入院外医療費は約1万円。また、入院費が約2万9千円となっている②40歳からの特定検診の受診と受診結果に応じた保健指導により、生活習慣病を予防することで医療費の適正化に努めていきたい③健康意識の向上策としてラジオ体操、ウォーキング、食改善に取り組んでおり、今後も継続することが重要と考えている④国保税の限度額は、地

**好生館跡地の有効活用と、顕彰を！**



白倉 和子

①県立病院好生館の跡地活用の動き②西洋医学をいち早く取り入れた佐賀藩の誇りとして、資料館等の検討を③民間大学誘致のため跡地の無償貸与は妥当か④大学誘致の経済的波及効果考えは⑤県との連携を密に。

と教育ゾーンとして活用し、2つのゾーン検討会を立ち上げ、それぞれの計画が具体化した段階で県立病院好生館跡地利用連絡調整会議を立ち上げたい②資料館としての機能を持った新たなゾーンを加える計画は今のところない③大学誘致はまちのにぎわいの創出に有効な手段であり、他の自治体を参考に、無償貸与で誘致したい④弘前大学、三重大学の経済効果を参考に試算したものである⑤今後とも

県と調整しながら跡地活用について進めて行きたい。  
**◆その他**◆南川副公民館の設計の問題点について／指定管理者制度について



好生館跡地

### 本市嘱託職員の処遇改善を求める!



田中喜久子

本市職員の3割弱に当たる667名は、年収2百万円以下の嘱託職員で、福祉や保育、相談業務など政策的にも重要な分野に従事している。行政サービスの継続と質の維持、正規職員等

との格差是正の立場から、その処遇を改善すべきでは

答弁 市では、嘱託職員の職務能力や職責に応じた報酬を定め、一定の期間ごとに報酬や休暇制度等の見直しを行っている。しかし、嘱託職員等の処遇については、地方自治法上の取り扱いに関する国の議論等の動きを注視しているところであり指摘のような改善には

至っていない。今後、嘱託職員のやる気を確保するためにも、新たな行政ニーズに対応するための職員との位置付けを明確にするなど、市の人事政策のなかで、どういった処遇改善が可能かを検討していきたい。

◆その他◆公共施設マネージメントについて/男女共同参画行政について

### スポーツGOMI拾いの開催を!



野口 保信

ごみ拾いとスポーツを融合した「スポーツGOMI拾い」が全国で広がり、今まで参加が少なかった若者子ども、高齢者等がルールに従って楽しく競技し、「また参加したい」と好評のようだ。環境啓発の取り組みとして佐賀市でも開催を。

答弁 スポーツGOMI拾いとは、一般社団法人日本スポーツGOMI拾い連盟の発案により、ごみ拾いにルールを設け競技化したもので、チーム制で、各チームに審判をつけ、決められたエリア内で制限時間内に拾ったごみの量を競う、子どもから大人まで楽しめるスポーツである。参加者は、スポーツの持つ爽やかさを共感しつつ環境意識を向上させることができる。スポーツGOMI拾いは、

特に若者等を取り込むための手法として有効であり、先進事例を研究したい。

◆その他◆家電リサイクルの取り組み/小型家電リサイクル法の施行への対応/ふるさと納税の取り組み

向上させることができる。



### 沿岸部の高潮・洪水対策を急げ



川崎 直幸

①高潮ハザードマップを早急に作成・配布すべきと考えるが、いつ完成して配布するのか②避難勧告や避難指示などの災害情報の危険地域住民への周知方法と周知時期は③高潮発生時の危険地域住民の避難所をどのように考えているのか。

答弁 ①遅くとも高潮の

発生が想定される台風シーズンまでに浸水想定区域内の世帯に配布したいと考えている②防災総合システムによる周知、消防団員、職員による広報などを行う。周知時期は、台風の一定の予測を气象台が行うので、气象台と相談し適切な時期に行っていきたい③浸水想定図を基に海岸堤防の破壊で最大の浸水区域を想定した場合、浸水の深さ0.5m未満のところを基準に避難場所を考える。実際は、



昭和60年台風13号(芦刈海岸)

台風の規模、状況により適切に判断したいと考えている。

◆その他◆筑後川の沈床・導流堤/開門による有明海の再生と漁業振興/有害鳥獣対策/火災防止対策

### さが桜マラソンの次回開催に向けて



中野 茂康

「さが桜マラソン2013」が、4月7日全国から約一万人のランナーの参加のもと、成功裏に終了した。①大会の評価は②開催時期やボランティアの拡充、海外への参加の呼びかけ、走者の時間制限の検討など、次回に向けた課題への対応

を問う。

答弁 ①マラソン愛好家向けインターネットサイト

で全国4位の好評価であった。また、交流人口の増加や情報発信力のアップにもなった。市内で前泊したランナーは約1300人、沿道の応援者数の推計は約6万人で、経済効果もあった。一方、フルマラソンと10キロが同時スタートで混乱、仮設トイレの表示が少ない等の意見もあった②佐賀新



さが桜マラソン2013のようす

聞社、佐賀陸上競技協会、県、神埼市、佐賀市の主催であり、次回に向けて5者で検討したい。

◆その他◆農業振興について

6月14日（金）

「ふるさと先生」の積極的活用を!!



松永 憲明

地域の農業を守り生かす食教育の充実、地産池消の推進という点で①制度の概要は②昨年度の実施状況と課題は③市の食農教育の取り組みは④ふるさと先生の活用促進と市の助成は⑤今後の進め方は。

答弁 ①県のさが「食と

他機関との連携でいじめ防止を!



池田 正弘

本年4月、文科省より教育委員会に、いじめの未然防止や解決に向けて人権擁護委員など法務省の人権機関と連携を強化するよう求める通知が出された。現在、学校での人権教室等が行われているが、今後の連携を

農、絆づくりプロジェクトの一環。地域の農業や郷土料理などに詳しい農業者をふるさと先生として登録。幼稚園や小中学校などの要望に応じて派遣し食農学習を実施②11回、14名が派遣。課題は周知不足③米や野菜づくりなど多様な農業体験を地域やPTAなどと連携しながら取り組んでいる④市内からの要望があれば県に対して予算枠の拡大を要望していきたい⑤食農教育

どうすすめていくのか。答弁 人権擁護担当部局、法務局とは、従前から連携を図っている。人権の花運動、人権教室、子どもの人権SOSミニレター、また、毎年行われている全国人権作文コンテストには、佐賀市立中学校から多くの生徒が応募している状況である。児童生徒に人権尊重の感覚を身につかせ、学校現場から、いじめ根絶を目指すた



◆その他◆学校における超勤問題解決に向けた取り組み／教育委員会の活性化と事務局改革

めに、人権擁護委員、法務局との連携は、もつと充実させる方向で取り組みたい◆その他◆指定管理者へのチェック体制について



自治会活動への補助拡充を



野中 宣明

市政を取り巻く環境の変化により、自治会長の負担増を感じるの声を聞く。同一の自治会長による複数年の職務継続は、なり手不足の解消や地域活動の継続性維持に繋がると考える。

天守台調査を復元につなげる考えは



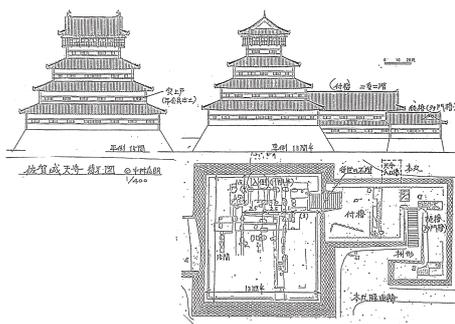
永瀨 義久

葉隠武士の行き交う天守閣が甦るような調査成果と想っているが①今後も調査に積極的に取り組み、全貌を明らかにしていくことが必要では②地元の熱い希望を踏まえ、佐賀城のシンボルとして、鯨の門とつながる付櫓を復元する考えは。

答弁 ①国の補助を受け実施しているこの調査に対し、佐賀城天守台調査指導

職務を継続してもらったためにも補助拡充が必要では。答弁 自治会におかれては、幅広い活動に積極的に取り組まれているが、社会情勢の急激な変化に伴い多様化し、また同様に行政に求められるニーズも変わってきている。このため、地域課題の解決に向けて自治会と行政が、協働の立場に立ったパートナーとして協

委員会付櫓部分の広範囲の調査を、という意見もあるため、調査地点の見直しを行い、継続的な調査ができるよう県や文化庁にお願いしていきたい②地元の熱い思いは強く感じている。築城400年という大きな節目のときでもあり、佐賀城の持つ多くの謎の徹底的な解明を図りたい。また、シンポジウム等を通して、その情報を積極的に発信し、佐賀城を今後どうしていくのかを



礎石配置図と天守閣及び付櫓復元図「赤松の歴史と文化」より

◆その他◆「さがの七賢人」(改訂が必要では・生徒全員に渡すべきでは)／再度LRTについて問う